

APU504XDC

UNIT

検出器からのプリアンプ信号リセット時に生じるデッドタイムを最小限に抑える回路を搭載しており、高計数での計測に特に威力を発揮します。

ADC: 100 M, 16-bit

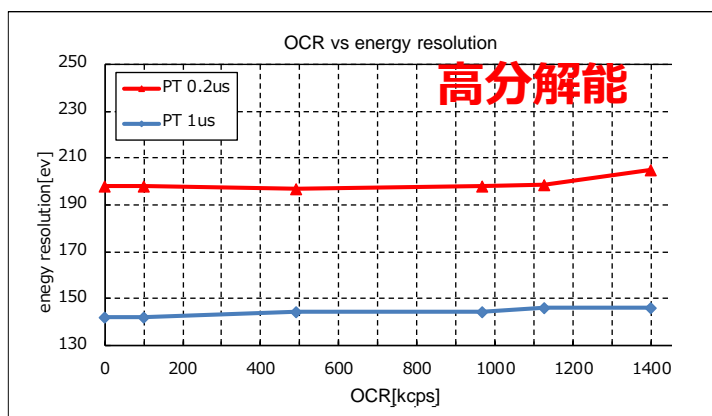
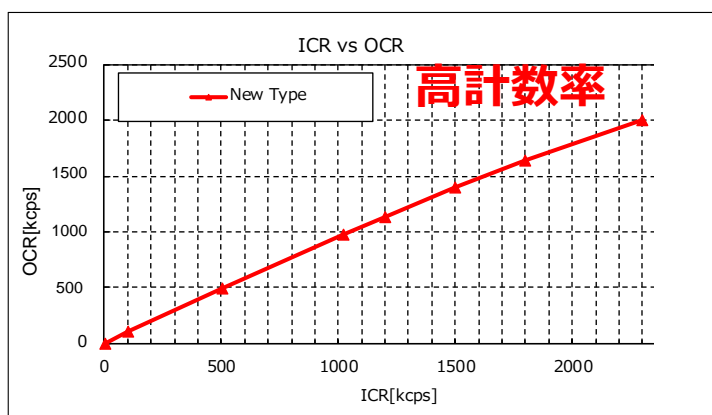
DC type



特徴

- **分解能 (@ 5.9 keV)**
125 eV: peaking time 2 μ s
140 eV: peaking time 1 μ s
*0.25 μ s equivalent analog
- **動作モード**
Histogram, Quick-Scan
- **機能**
ROI-SCA など (FAST, SLOW)
- **通信 I/F**
TCP / IP, Gigabit Ethernet
データ転送 20 M Byte / sec. or more
*リストモード時

DCタイプの性能



Quick-scanデータ例

Event#1	CH1 4096ch	CH2 4096ch	CH3 4096ch	CH4 4096ch
Event#2	CH1 4096ch	CH2 4096ch	CH3 4096ch	CH4 4096ch
⋮				
Event#N	CH1 4096ch	CH2 4096ch	CH3 4096ch	CH4 4096ch

Quick-scanモードとは、時間分解測定を行うもので、外部トリガタイミング(最小10ms)間隔でその間のヒストグラムデータをPC側に送信し、PC側で連続してHDDにデータを保存するモードです。

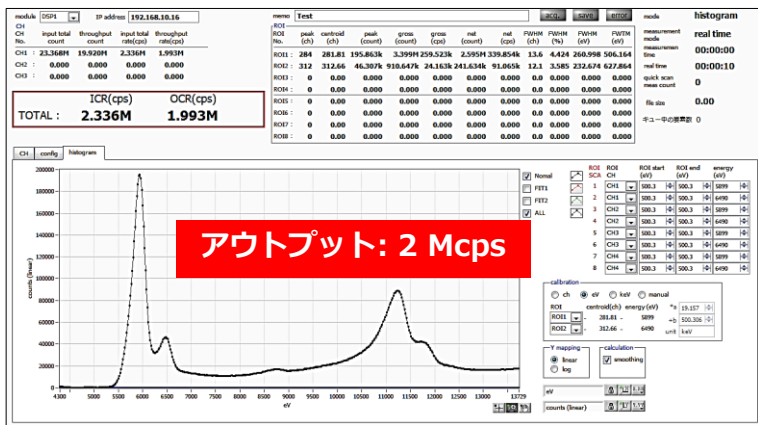
QXAFS測定に最適です。

※写真はイメージです。
※記載内容は予告なく変更することがあります。

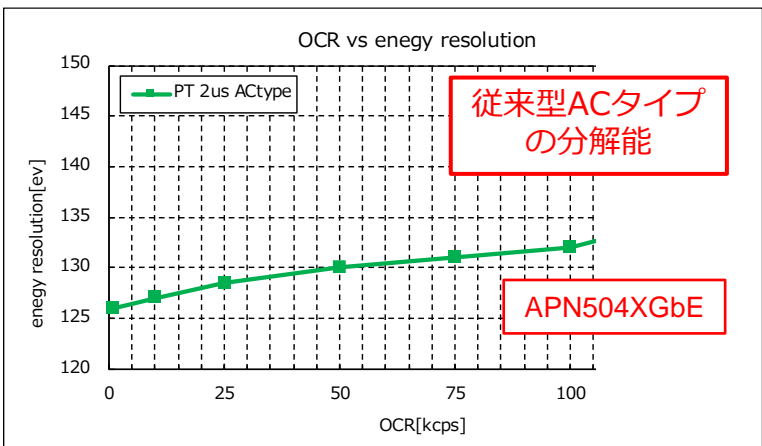


次世代の計測テクノロジー

DC type



ポイント:
 計数率が100kcps以下の場合、
 ACタイプのAPU504XGbEの方が
 分解能が優れています。



仕様

アナログ入力	4CH, LEMOコネクタ, 入力インピーダンス1kΩ
Coarse Gain	x1, x4, x10, x20
Fine Gain	x0.5~x1.5
ADC	入力信号±1V, サンプリング100Mpsps, 分解能16-bit
ADC Gain	4096, 2048, 1024, 512, 256チャンネル
Trapezoidal Filter	0.05~12μs
デジタル信号処理	Baseline Restorer, Pileup Rejecter, CFD PCから全パラメータ設定
Quick-scanモード	最小時間間隔10ms データサイズ : 32768byte (= 2byte×4CH×4096ch)
外部端子	フィルタ波形出力, クロック入力, GATE (Trigger) 入力, VETO入力, クリア入力,
通信インターフェース	TCP/IP, ギガビットイーサ
外形寸法	210(W) x 45(H) x 275(T) mm *コネクタ除く
重量	約900g

※写真はイメージです。
 ※記載内容は予告なく変更することがあります。

